

2017年(平成29年)2月18日(土曜日)

浜松市中区、佐鳴湖からほど近い学習塾「和田塾」。ここに、毎年100人以上の学生を海外に送る支援施設、ISC留学netがある。海外の高校や大学への進学や、半年以上の長期留学の行

静岡 きらり人財

き先の選定から、手続きや現地での支援まで、1975年から40年以上続けてきた。「どうして、留学したいと思ったんですか?」代表の大場規之さん(53)は、生徒や親との面談をこの質問から始める。「単

浜松を本拠に海外留学支援

ISC留学net代表

大場 規之さん



地方学生と同じ肌感覚で

に「ニュージールランドの語学学校にいきたい」と言ってもその目的や背景は様々」だからだ。例えば生徒が高校中退であれば、実際は海外の高校進学や、日本で高卒認定を受けてから進学し

ったのが、自身が初めて海外に渡った17歳の時の経験だ。米サンフランシスコ郊外でのホームステイ時、終電で乗り過ごし迷子になった。出会ったおじいさんに必死に状況を伝えると電話を貸してくれ、連絡を取ることができた。

帰国後、大学生の時に和田塾と留学支援を始め、同塾でバイト。09年に和田さんが、がんで仕事を続けられなくなったため代表を引き継いだ。「海外での苦労は長い人生で見れば必ずプラスになる」。確信を胸に、感じていたのは地方の子に2、3人を送り出す程度だった留学支援の拡に注力。全国の塾や英会話教室と連携し、海外留学を考える生徒や親の相談窓口となった。大場さんの出身も浜松全国からの相談はお互い費用がかからないように、無料インターネット通話のスカイプを活用し、必要な書類などは郵送でやりとりする。連携先の学生を海外に送り続ける。 (伊神賢人)

ひとこと

「子どもたちの人生を大きく左右する選択に関わることが何よりの喜び」